

# 浜通り復興リビングラボ

～サイエンス x 官民共創まちづくり～

令和5年9月19日

双葉町産業交流センター

復興庁

原子力災害復興班（まちづくり担当）

参事官 石垣 和子

## 浜通り復興リビングラボ ～サイエンスx官民共創まちづくり～

### 背景・目的

- ・福島国際研究教育機構(F-REI)が浜通りに立地することにより、国内外から研究者やその家族が浜通りに移住・定住することが想定され、浜通りでは、従来の住民や移住者のもとより、今後来訪する研究者のためにも**生活環境を向上**させていくことが期待される。
- ・F-REIにおいて、多くの実証事業が浜通り地域において実施されることとなり、**地元の実証事業受入能力**の更なる向上が必要。  
⇒最新のサイエンスやテクノロジーを積極的に活用し、**住宅、医療、教育、交通、買物等の生活環境に係る地域課題の解決**につなげることをめざすとともに、**浜通り地域における実証事業受入能力向上**を支援するため、「浜通り復興リビングラボ」事業を実施する。

### 浜通り復興リビングラボ～サイエンスx官民共創まちづくり～

**住む（住宅）、出かける（交通）、学ぶ（教育）、癒やす（医療）、楽しむ（買物・娯楽等）**といった**生活環境分野**で、**産学官の協働のもと、実証事業の企画・実施**を行い、**地域における生活環境向上**につなげる。



### スケジュール

- 8月 : 実証事業参加企業公募開始 (締切: 9月5日)  
8月8日 公募企業向け説明会 (地域課題共有)  
8月19日 現地視察
- 9月 : マッチング会議発表企業決定 **今回のシンポジウム!**  
**9月19日 シンポジウム(公開)**  
**9月19日 マッチング会議(非公開)**
- 10月 : 実施プロジェクト決定・発表  
実証事業企画調整の開始  
調整が整った事業から順次実施 (実施は次年度以降でも可)
- 2月 : 専門家による実証事業総評  
3月 : 令和5年度成果報告シンポジウム

### 参加の主なメリット(自治体)

- ・民間企業の知見や財源を活用しながら、地域課題を民間企業と共に最新技術で解決する、**地元主体のまちづくり**を実現できる。
- ・未来のまちの姿に向け、地域住民が新商品・サービス・ビジネスモデルを使った**より良い暮らしを一足先に体験**することができる。
- ・実証から実装へ向けた展開を支援することにより、浜通りにおける**地域課題の解決**、ひいては**F-REI研究者受け入れ環境の向上**につなげられる。

### 参加の主なメリット(民間企業)

- ・地域住民が生活の中で抱える課題に即して、**新しい商品・サービス・ビジネスモデルの開発**を行うことができる。
- ・参加者募集や関係団体等との調整など、**受入自治体や復興庁、専門家の支援**が得られる。
- ・「福島復興」という**社会的意義のある目標**に貢献できる。
- ・技術的な課題について、**将来のF-REI研究との連携も視野**に入る。

## 浜通り復興リビングラボ【提案内容】

	社名	実証事業名（仮）
1	東日本電信電話株式会社(NTT東日本) NTTインフラネット株式会社 株式会社オリエンタルコンサルタンツ	<b>DXを活用した行政・住民サービス事業の実証</b> データ連携基盤および3D都市モデルを構築し、例えば「空き家問題」を解決するためのアプリ開発、プラットフォーム構築を実験的に行う他、AIカメラを設置し、人流、滞在時間等基礎情報の取得、地域見守りサービスへの展開などの利活用方法について検討する。
2	株式会社博報堂	<b>「ヒトとマチの動かし方」共創 実証事業プロジェクト</b> 交通課題解決のために、まずは住民を巻き込んだワークショップ、公共交通事業者などと公共交通会議を実施し、課題や状況に応じたソリューションをカスタマイズし、地域交通をデザインした上で、実証すべき公共交通モデルにつなげていく。
3	国際航業株式会社	<b>デジタルツイン構築による物流等サービス実証</b> 国交省オープンデータ「3D都市モデル」等の空間データと国際航業社製プラットフォームを利用しデジタルツインを構築。これを利用して物流におけるドローン配送飛行ルートの生成、飛行管理を行い、住民サービス向上や物流コスト低減可能性について検証する。
4	株式会社URシステムズ	<b>ChatGPTを活用した市民サービスの向上とデータ収集活用</b> 空き家・空き地を利活用したいと考える移住者等に対し、応答するシステムをChatGPTの活用により構築するとともに、求められる物件の傾向や特徴をデータとして収集し分析するシステムの構築、検証を行う。
5	株式会社ゼンリン	<b>ドラレコ画像を活用した道路変化点検知</b> タクシー、商用車、公用車で取得したドライブレコーダー画像とゼンリンの保有する地図情報を活用することで、道路の変化点を効率的に検知し、道路メンテナンス業務を削減する仕組みを検証する。

2

## 浜通り復興リビングラボ【提案内容】

	社名	実証事業名（仮）
6	株式会社スマートアグリ・リレーションズ	<b>ふくしま浜通りSDGs圃場研修交流会</b> バイオマスプラスチック用コメの栽培を通じ、関係人口・交流人口創出につながる教育プログラムの改善案について検証するとともに、自治体のゼロカーボンシティへの取組との連携可能性を検討する。
7	株式会社ウェザーニューズ	<b>極端化する気象現象を踏まえた安全・安心な街づくり支援</b> LINEチャットボット機能を利用し、住民からの被害状況を収集し得られた情報をAIで自然言語解析することで被害状況等を自動分類するシステムを日常から住民に活用して頂く用途について検討する。
8	株式会社DeNA	<b>防災をテーマにした子どもたちへの先端教育、ワークショップの実施</b> 先端技術に触れる授業、ワークショップを通じて、子どもたちに3Dアート作品を作ってもらい、避難場所等に配置・閲覧することによって、将来的に防災に役立つツールとして利用できるかを検証する。
9	株式会社アルム	<b>浜通り地域における基幹病院と診療所のD to D遠隔医療体制の構築</b> 医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」によるかかりつけ医や訪問診療医と専門医のD to Dコンサルト（病診連携）や、新機能であるポータブル医療機器と「Join」の連携による遠隔診療・専門医からの診療支援（D to D with P）の可能性について検証する
10	株式会社電通国際情報サービス	<b>DigSportsによるスポーツとテクノロジーの体験格差解消の試み</b> AIを組み込んだシステムによる運動能力測定の利活用方法及びその効果について検証する。例えば、子どものスポーツ振興やSTEM教育へ寄与できるか、また、シニア層のフレイル（虚弱化）予防や情報格差防止につながるか検証する。

3

# 浜通り復興リビングラボ【提案内容】

	社名	実証事業名（仮）
11	株式会社YAMAP	<b>地域の人たちが稼ぐ力をつけるプロジェクト～自然の翻訳者、インタープリター養成～</b> 地元の方が地元の自然の魅力を表現する力をつけるための教育プログラムの改善案について検討し、教育プログラムの結果としての提案物が、最終的にヤママップレベル上でツアー販売できるレベルのものになりうるのか実証する。
12	株式会社フジタ	<b>ドローンを活用した山林測量、山林管理の生産性向上</b> 現在人力で行われている山林管理における測量作業や樹種等把握の効率化を図ることを目的に、フジタで開発中のドローン緑地管理手法の適用可能性について実証する。

# 浜通り復興応援ビジネスネットワーク（通称：Team浜通り）

【目的】リビングラボ事業等を通じて、福島県浜通り地域等における復興の状況や復興施策など情報共有しながら、会員間での連携を推進する。

【パートナー】福島国際研究教育機構（F-REI）、福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島相双復興推進機構、UR都市再生機構

【会員企業：計25社】※赤字は提案企業

業種	社名	業種	社名
情報通信業・ITサービス	(株)アルム	サービス業	(株)博報堂
	(株)ウェザーニューズ		(株)ヤマツブ
	NTTインフラネット(株)	商社	住友商事(株)
	(株)NTTデータ経営研究所	建設業	會澤高圧コンクリート(株)
	東日本電信電話(株) (NTT東日本)		大成建設(株)
	(株)ゼンリン		(株)フジタ
	ソフトバンク(株)	建設コンサルタント業	(株)アバンアソシエイツ
	(株)ディー・エヌ・エー		(株)オリエンタルコンサルタンツ
	(株)電通国際情報サービス		(株)構造計画研究所
(株)URシステムズ	国際航業(株)		
サービス業	カルチャ・コンビニエンス・クラブ(株)	その他	(一社)Ag Venture Lab
	デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー(同)		(株)スマートアグリ・リレーションズ



ご静聴ありがとうございました。